

◆特集対談◆能代で子育て

今回の特集は子育て支援をテーマに、母乳育児サークルミルキーハグ代表の甲谷真奈美さん、おらほの産科小児科を守る会代表の大谷美帆子さん、能代山本子育てサポートグループちゅちゅ代表の田中真理子さんの3名の方にインタビューさせていただきました。

**Q** 現状の子育て支援についてどのように思いますか。また、今後どういった支援の充実が必要だと思いますか。

**甲谷さん** 子育てしながら働きやすい環境づくり、そこに尽きるのかなと思います。

**Q** 具体的にはどういったことでしょうか。

**甲谷さん** ママたちの中では助成金や子育て関連施設を充実してほしいという意見が多いですが、確かに助成制度は必要ですけれども、お金だけいただいても根本的な解決にはならないと思っています。資格をたくさん持っている、独身時代は活発に働いていたママたちが多い、でも子供ができた途端に、ゼロか100になってしまう。自宅で子供につきつきりになるか、子供をどこかに預けて働きっぱなしになるか。

**Q** 子育てをしていることが求職に影響を与えたことはありますか。

**甲谷さん** 面接を受けて、不利な印象を受けたとか、就労条件を聞いてみて自分から断念したという声を聞きます。時短勤務などを利

用しても誰も責めないかもしれないけれど、自分だけではなく職場全体に影響するので責任を感じて利用しづらい。子育てもできるし自分の力を全力で発揮できるように、職場自体の環境を変えるための企業に対する支援策が必要。そうすることで働く側も士気が高まるのではないのでしょうか。

**Q** どういった就労条件が理想的ですか。

**田中さん** 子供が病気の時などは、預けるだけではなく仕事を休めるような環境になってほしい。

**大谷さん** 1日3〜4時間の短時間の仕事がちょうどいい。フルタイムだと帰ってきて子供と向き合う時間がないし、習い事の送迎もできないんです。



甲谷真奈美さん、大谷美帆子さん、田中真理子さん（左から）

**Q** 子育てサークルの活動をしている中で感じることはありますか。

**田中さん** サークル内でアンケートをとると一番多いのは金銭的な援助を求める声ですが、情報発信を充実してほしいという声も多く、私たちの団体では市の補助金を活用して子育て情報を発信するためのホームページを開設しました。それから子供と高齢者がかわり合えるきっかけやイベントをつくりたいです。

**大谷さん** 私が以前暮らしていたまちには子供と高齢者の施設がひとつになった交流施設がありました。そんな幼老複合施設を常設で利用できたらいいですね。

**Q** ほかに子育て環境について問題を感じることはありますか。

**大谷さん** 子育て世代の意見を吸い上げる仕組みを作ってほしいです。私の住む地域は上下水道が未整備で、以前、水道整備についてのアンケートが行われた際に、1世帯分しかアンケート用紙が届きませんでした。私の家は2世帯住宅なので自分たちの親世帯が答えてしまふ。高齢世代は現状維持を望む声が多いけど、子育て世代は整備を求める声が多い。水洗トイレが欲しいし、学校の水道水も井戸水なので心配。もし、また調査をするのであれば、世帯分だけ意見を聞けるようにしてほしいです。

取材に御協力いただき、ありがとうございます。

取材：落合康友 佐藤智一 菅原隆文